

第2回庄内町立図書館協議会（図書館協議会委員研修）会議録

- 1 開催日時：平成25年10月24日（木）11時00分～17時00分
- 2 開催場所：村山市総合文化複合施設 甌葉プラザ
- 3 開催内容：【図書館協議会委員研修】
平成25年度 全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門) 北日本
図書館連盟研究協議会
研究主題：図書館サービスのこれから ～情報と交流の拠点をめざして
(平成25年度第33回山形県図書館研究大会同日開催)
- 3 出席委員：小野寺姫、館林由美子、日野淳、小野寺博
- 4 欠席委員：池田孝一、金内淳、工藤佳奈恵
- 5 事務局：図書館長、主査、主事補、嘱託学芸員

第2回庄内町立図書館協議会は、図書館協議会研修として、「平成25年度 全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)」「北日本図書館連盟研究協議会」へ参加した。

今回の大会は開催県のため県立図書館が主管し、県内の図書館の協力のもと、村山市総合文化複合施設 甌葉プラザにおいて、10月24日・25日の両日開催し、委員研修としては、24日の日程にのみ参加した。

この研究集会には、全国各地から369名（内県内参加者250名）が参加、全国大会ならではのすばらしい講演や特色ある各地の事例発表などが行われた。大会に参加して、図書館サービスのあり方、人と本をつなぐ、交流や情報発信の場所、また資料を未来へ伝える大事な場所であることなど、委員一同再認識した研修会となった。

○研修概要は次のとおり

《参加日程》

- | | |
|-------------|---|
| 11:00～11:30 | 第33回山形県図書館研究大会 |
| 11:30～13:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00～17:00 | 全国公共図書館研究集会・北日本図書館連盟研究協議会開会式
基調講演・事例発表 |

- (1) 第33回山形県図書館研究大会
全国公共図書館協議会表彰
山形県図書館協会事業功労者表彰



全国公共図書館協議会表彰

(2) 基調講演 「図書館サービスのこれから～情報と交流の拠点をめざして～」

NPO法人オブセリズム CEO 花井 裕一郎 氏

図書館とは、世界に通用する教養を身につける場所だと思う。他の人を尊敬できるし、戦争をなくすには教養がいる。そのためには学校教育、そして図書館教育が必要である。図書館は地域の外と中をつなぐハブの役割をしている。人と人とのつながり。人と本をつなぐ。図書館職員は人を好きでないとミッションは続いていかない。お客様に寄り添うライブラリアンであってほしい。図書館ではどんなおもてなしができるか、おもてなしは面倒くさいけど、これをずっとつづけていくと「おもてなし」になる。いつもお客様のために何かできないか、何を求めているか考えてほしい。

(3) 事例発表

① 「デジタル時代の図書館サービス」秋田県立図書館 情報サービス班主査 嵯峨進氏

図書館利用を促進するために、従来にない非来館型のサービスとしての「デジタルアーカイブシステム」と電子書籍について発表した。登録情報の更なる充実などが課題である。

② 「北摂アーカイブスについて～地域の記憶を記録すること～」

大阪府豊中市立岡町図書館 司書 西口 光夫氏

ボランティアとはいわない地域の人材の活用として「地域フォトエディター」（※自ら情報を編集・発信する人）を配置しての活動や地域情報として、地域の歴史を広め、豊かにし地域の資産になっていくこと、そこに図書館の役割がどう関わっていくかなど発表した。

③ 「読書シテイ宣言」のまち、村山市

～交流と学習の拠点として、独自のイベントや仕組みを考案～

山形県村山市商工文化観光課 課長補佐 奥山典子氏

村山市の図書館の建設などに長年関わってきた奥山さん（今年4月に異動し現在の部署に）が、図書館を外部からみた視点を交え、読書シテイ宣言へ発展し現在も熱い図書館事業を展開している状況について発表した。

④ 「まち・ひと・オガール～新しい図書館の役割～」

岩手県紫波町図書館 主任図書 手塚美希氏

紫波町図書館は、北に盛岡市があり、平成24年8月末オガールプラザが竣工し、その中の一部に図書館があり、60万人をターゲットに事業を展開している。民間と行政が役割分担しながら、公民連携という形で、連携イベントや連携企画展示を実施、図書館内のデザインにも力を入れている。